

やすらぎ

日本聖公会 九州教区 福岡聖パウロ教会
〒810-0045 福岡市中央区草香江 2-9-22
TEL 092-751-0097 FAX 092-751-9916
発行人 司祭 ミカエル 李相寅

258号

2021.12.19 発行

YASURAGI



「世代間の信頼」

司祭 ミカエル ^{イサン} 李相寅

私が見た韓国ドラマ(Netflix放送)を1つ紹介したいと思います。「私のおじさん(マイ・ディア・ミスター)」というドラマです。簡単にストーリーを話すと、厳しい環境で祖母の面倒を見ながら生きていく若い女性と、彼女の働く職場の上司(おじさん)の間で起こる話です。彼女は祖母と自分が生き残るために罪を犯すしかなかったのですが、その罪による罪悪感を持って生きています。職場の上司は彼女の罪の実体を知ってから排斥したり無視したりしません。さらに彼は罪悪感と恐れの中で生きている彼女にいつも「そんなこと、どうってことない」、「私もそうしたはずだ」と共感し、時には大人として叱りながら、彼女がそのくびきから、抜け出すよう助けます。そんな職場の上司(おじさん)を見て、彼女は尊敬する人ができ、生きて行こうという意志もできたと話します。

私たち人間は共同体の中で共に生きていく存在です。私たちはそこで信頼に基づいた暮らしの安定、意味や価値を得ることになります。この信頼には様々な形と内容があります。家族間の信頼、友達との信頼、同僚間の信頼、私の欲望と成功の基盤となる信頼、私に楽しさと喜びを与える信頼、私の悲しみと寂しさを慰めてくれる信頼などがあります。

私はこれらの中の特に世代間の信頼を指摘したいと思います。今の時代、社会は世代

間の信頼が失われたかもしくは弱くなったような気がします。その理由と原因は様々でしょうが、現代では私たちの生き方がとても速く変化しすぎて、それによって世代間でお互いに共感、共有できる生き方がだんだんできなくなっていくのが一番大きい原因ではないかと思っています。

しかし、私はこのような世代間の信頼はただ生き方の共有だけではないと思います。世代間の信頼には死を境とする限界ある、被造物の人間がお互いを憐れみ、面倒を見る純粋な心が存在します。前の世代は次の世代のために献身をしたり、次の世代は前の世代の献身を尊敬したりすることです。

聖書とキリスト教の聖霊の歴史はこのような信頼を強調しています。自分が属していない世代に向かっています。大きな枠で言い換えると創造・始まり・先祖は終末・終わり・子孫に向かい、終末・終わり・子孫は創造・始まり・先祖に向かっているわけです。

私は福岡聖パウロ教会が様々な世代が集まった共同体として、お互いの生き方を強要し合うのではなく、死の境界でお互いを理解し、見つめ、愛する共同体になることを祈ります。